

第44回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）に参加しました！

令和5年9月2日に、我孫子市の川村学園女子大学にて第44回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）が実施されました。参加機関（団体）は約100機関で、炎天下の中、千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）6名が参加しました。

当日はチーム員をAチームとBチームの2班に分け、『なんでも相談所』の対応と避難所訓練を交替で実施しました。『なんでも相談所』に訪れた子ども連れの方からは「工作中、しかも学童保育がない時に地震が起きたらどうしよう。」という相談がありました。

来場者にはDWATのチラシを配布し、DWATのPRに力を入れました。その後、リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）のチーム員と合流し、避難所内や体育館周辺やトイレ等の周辺環境の状況を把握し、対応が必要な箇所は写真撮影をしました。

避難所エリアの所感として、チーム員から挙げた気付きや検討事項がいくつかありました。具体的には、誘導線・道線の必要性、色でわかるようにゾーニングをすること、テントのパーテーションが低い、必要な設備がない（簡易トイレの手すり、手洗場、ごみ箱、汚物ボックス、下駄箱、子どもの遊び場所等）、テント内へ車椅子で入る時、段ボールベッドの向きを変えると入りやすいという気づきがありました。



なんでも相談所



アセスメント（JRAT 同行）



情報共有・意見交換



テント内ダンボールベッドの確認